
殺害指令が出たんだニヤ。

ひまわりまわり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

殺害指令が出たんだニヤ。

【コード】

N2820N

【作者名】

ひまわりまわり

【あらすじ】

とりあえずそうなんだにゃ！

殺害指令が出たんだニヤ。

オレは猫スナイパー。いわば猫専門の殺し屋だ。

ちなみにオレも猫。猫が猫を殺す。世知辛い世の中だ。

「こいつを仕留めて欲しいんだニヤオス」

闇の猫組織。今回オレを呼び寄せたのもの、その世界のトップ。最近、勢力を拡大しつつある別の新興勢力（無論猫）の連中のトップを、

一撃で仕留めたいという、土着の古参勢力のドンが今回の依頼主だ。

「期日は？」

「明日までにだニヤオス」

「明日？」

オレは我が耳を疑った。

「おいおい、冗談はサルの耳だけにしてくれよ（意味がわからないかもしれませんが、この慣用句は猫界ではよく使われる表現。筆者も意味はわかりません）一日なんて言ったら、鰹節がリード味じゃないか（筆者も意味はわかりませんが、どうやら”むちゃくちゃな話”という意味のようです）」

オレの表情は曇った。当然だ。

が、オレもプロの猫スナイパー。依頼を断るわけにはいかない。

「オーケー、了解だ。期日は明日までだな。明日までにタンスが湯を沸かすから、安心しててくれ。」（筆者もよく分かりませんが、「難しい事をなんとかする」という意味のようです）」

「ゴリラが沐浴する気分だぜ・・・」（筆者も意味はわかりません）」

オレはそっとつぶやいた。

とりあえずオレは日向ぼっこする事にした。

そして眠くなったので寝た。

その後、ヒマだったので、コオロギをいじくりまわして遊んでいた
ら、

調子乗りすぎてコオロギの足が取れてしまった。多少良心が痛む。

その後オレは銃を手にし、（猫がどうやって銃を？とかそんな事は
踏み込まないでください。この物語は言うまでもなくフィクション）

新興勢力のドンを殺害した。

全てが一瞬。奴は血の海に沈んだ。

だが、今度はその報復として、その新興勢力の生き残りが、古参勢力のドン殺害を俺に依頼する可能性は、ある。十分にある。

それが猫社会だからだ。

その後とりあえず、金網乗り越えようとして、何かでっぱりに引っかかって怪我してしまった。ちょっと痛い。

あとぜんぜんどうでもいい話だが、ディズニーのキャラクターに猫がいないのは何故だ？ネズミ食うからか？

こういう事を言うと、「ふしぎの国のアリスに登場するチシャネコは猫だ」とか「1988年公開のオリバー・ニューヨークの子猫物語のオリバーは猫だ」とか、「1977年公開のビアンカの大冒険のルーファスは猫だ」とか、いろいろ言う奴がいるが、あれってコア・キャラクターじゃねえし。

ってか、ネズミ食わんし。

つか、ミッキー食わんし。

とりあえず、ミッキーゆうたら、オレん中ではミッキー吉野なんだ
よ)(ゴダイゴの)

オレは夕日を見つめた。眠いからあくびして、あくびしたら眠くな
ったから寝た。

(おしまい)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2820n/>

殺害指令が出たんだニヤ。

2010年10月21日21時18分発行